

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.375 2018.8.8 連絡先 402-1622 >

ノーモアヒロシマ ノーモアナガサキ

核兵器のない平和で公正な世界を！ NEVER GIVE UP！

8月4日から6日まで、広島で開かれた原水爆禁止2018年世界大会に行ってきました。海外から国内各地から、核兵器廃絶運動に携わる人々が広島に集い、情勢の学習や運動の交流などを行います。

被爆後73年たち、被爆者の平均年齢は80才を過ぎました。核兵器が使われたヒロシマ・ナガサキではどういうことが起こったのか、被ばくの実相をどう伝え続けていくのかが今の課題です。今回は高校生や大学生の取り組みが紹介され、若い人の参加も目立ちました。また、裏面に載せた子どもの「平和の誓い」にも「伝承者になります」と力強く語っています。頼もしく思います。

開会総会で「総がかり実行委員会」の共同代表が初めて参加し、原水爆禁止の運動が一つになっていないことをさして「分裂している場合ではない。今は共闘の時代だ」と話されたことに感動しました。



核兵器禁止条約は122か国の賛成で国連で採択されて丸1年たちました。8月の大会までに批准した国は14か国です。1年経ってまだ14か国かという思いもありましたが、他の条約と比べても決して遅くはないスピードだと知り安心しました。核兵器を手放したくない国々とのせめぎ合いもありますが、批准をすすめるためにも、ヒバクシャ署名で世論と運動を盛り上げることが必要です。

子どもの「平和の誓い」にある、

平和とは、自然に笑顔になれること。

平和とは、人も自分も幸せであること。

平和とは、夢や希望を持てる未来があること。

の一節にはとても考えさせられました。日本は平和の国と言いますが、本当にそうでしょうか。「夢や希望が持てる未来がある」と言い切れるのでしょうか。自信も持って言い切れる日本にしていかなければ。そのためにできることを惜しまずやっつけよう、決意を新たにしました。

みち子のひとりごと 広島こぼれ話

④ 帰りの広島駅で。大会に参加したららしい他県の女性の会話が聞こえてきました。「あ、荷物置いてきた」「どこに?」「ホテルに」。電車の時間までに荷物を取りに行けたかしら。それともホテルに話して着払いで送ってもらったのかしら。確かめようもありません。気がなります。



② 前回まではホテルに朝食がついていなかったのですが今回はついていました。嬉しさもバイキングの性、あれもこれもと欲張って腹痛に。③ 今年も速報づくりのお手伝いで文章の打ち込み。見直したつもりなのに2020年が2011年20年の話になってしまいました。

① 暑くて寒かった。外は電光掲示板に気温36度と出るほどの暑さ。少し歩けば汗まみれです。しかし分科会、女性のつどいの会場は、最初は気持ちいいけどだんだん冷え冷えに。足元が冷たくなってしまうほど。財布の中の小銭が冷たくなっていました。

井本ゆづいちです



8月6日は広島原爆の日、8月9日は長崎原爆の日、そして8月15日は終戦記念日です。

核兵器廃絶への願いと、戦争をせずに平和な世界をとの思いが強まります。

去年の国連での核兵器禁止条約の決議に、日本政府は欠席しました。安部首相には核保有国との橋渡しにとどまらず、世界で唯一の戦争被爆国である日本の首相とし

て、アメリカの核の傘から抜け出して、核兵器禁止条約の批准を世界の国々に働きかけてほしいものです。

また、憲法9条を持つ国として、二度と戦争をおこさせないことも重要です。安部首相が執念をもって進めている、憲法9条に自衛隊を書き込むたくらみを、こちらも執念をもって絶対に許さないたたかいを進めましょう。

平和への誓い

広島市平和記念式典でこども代表が読み上げた平和への誓いは次の通りです。

人間は美しいものをつくることができます。人々を助け、笑顔にすることができます。しかし、恐ろしいものをつくってしまうのも人間です。

昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

原子爆弾の投下によって、街はやけ、たくさんの命が奪われました。

「助けて。」と泣き叫びながら倒れている子ども。

「うちの息子はどこ。」と探し続けるお父さんやお母さん。

「骨をもいでください。」と頼む人は、皮膚が垂れ下がり、腕の肉がない姿でした。

広島は赤と黒だけの世界になったのです。

73年経（た）ち、私たちに残されたのは、血がべっとりついた少女のワンピース、焼けた壁に記された伝言。

そして今もなお、遺骨のないお墓の前で静かに手を合わせる人。

広島に残る遺品に思いを寄せ、今でも苦しみ続ける人々の話に耳を傾け、今、私たちは、強く平和を願います。

平和とは、自然に笑顔になれること。
平和とは、人も自分も幸せであること。
平和とは、夢や希望を持てる未来があること。

苦しみや憎しみを乗り越え、平和な未来をつくろうと懸命に生きてきた広島の人々。その平和への思いをつないでいく私たち。平和をつくることは、難しいことはありません。

私たちは無力ではないのです。平和への思いを折り鶴に込めて、世界の人々に届けます。

73年前の事実を、被爆者の思いを、私たちが学んで心に感じたことを、伝える伝承者になります。

平成30年（2018年）8月6日
広島市立牛田小学校6年 新開 美織
広島市立五日市東小学校6年 米廣 優陽

しめきりが決まりました・・・

**ぶどう狩り&
どんどん広場&
中野BC etc.**

9月17日（月・祝日）

しめきり 8月31日（金）

詳しくは同時折り込みのチラシをご覧ください

お問い合わせは
090-1702-7310
松坂まで